

日本盆栽作家協会会報

第21号 平成25年10月1日



作品 盆 栽 は 作 家な 芸 術 作品

て自分 Ø 年と いわな Ø 手元に持 いまでも、 て愛情をかけ つと、 真に自分の「作 最低でも五年は手元に持っ しさがわ て欲し い い

Ø 意 識を持ち、 個 性 的 な 作 意

初め

て芸術たりうる

も

Ø

が

誕

生

する

بح

日本盆栽作家協会は、 盆栽界の発展 Ø た め に 真 の 盆 栽 の

を育てていきたいと考えて いま



米栂 (こめつが) 米沢増雄

米栂の自生地と言えば、すぐにも八ヶ岳周辺の立山や美ヶ原 (長野県)、また欅平(富山県)等を思い浮かべ、まことに清々 しい景色に、気持も晴れやかになります。本盆栽の根張りや 枝配りなどは、30年以上の歳月を重ねて作り上げたもので、 この姿が、本樹種の自生地を彷彿とさせてくれます。

山茶花 (さざんか) 山田登美男

ています。





前期展示作品

主会場

/日本盆栽作家協会 後期 平成24年10月19日(金/前期 平成24年10月19日(金

金金

日日

水水



第21回作家展(於:大宮盆栽美術館)

椿は、古来神聖な樹木として崇め られてます。特に梅に先駆けて咲 くツバキ科の一品種である山茶花 は、地方によっては寒椿が咲いた と喜ばれています。この椿は、個 の中で長い歳月をかけて培養を重 ねた古さを備え、貴重な品格をもっ

真柏 吹田勇雄







五葉松 阿部健一

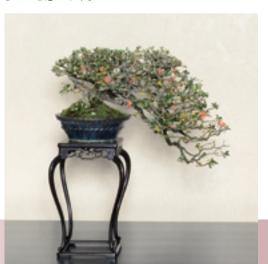
私の盆栽は、近所の農家の庭で 60 年間庭木として育てられたものです。これを譲り受け、鉢上げした後、35 年間盆養を続けて来ました。先代である父、倉吉の教えは、盆栽の基本は「吾妻山の自然樹から学べ」というものでした。その姿の中に、自然らしさを表現する事が大切であるとの教えです。この作品の中に、自然らしさを感じて頂ければ幸いです。

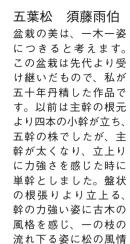


真弓 ロレンツォ・アニョレッティ(イタリア) 古木ならではの姿の厳しさと、これとは対照的に、たわわ に実った可憐な実成りも、本樹にひとしおの風情を添えて います。

長寿梅 今井千春

第84回国風展出品樹。懸崖の枝が弱らないよう肥培、 葉刈りを繰り返し、現在に至ります。長寿梅ならでは の小枝のほぐれや、歳月を重ねた古相感を鑑賞して頂 きたいと思います。





を観ています。





花梨(かりん) 野上寿明 この花梨は、25年ほど前に求めたものを、取り木を行い、できるだけ枝を細かくするように、常に心がけて作ったものです。



五葉松 小林國雄

盆栽界では、黒松は「皮性」、五葉松は「葉性」と言われるように、本樹も素晴らしい葉の性質を特徴としてもった樹です。また、盆栽の基本的な見どころである根張りは、力強さと品格を兼ね備えています。

すなら一旦足し算で作ったもの で作り上げた盆栽は案外飽きら いのです。 に座って長い時間向き合って初 し算より引き算が肝心。足し算 う盆栽を作るには、足

イナスするのは美学と勇気と精盆栽美や味わいが生まれる。マめて本格の盆栽になる。本物のを再びマイナスする。それで初

新しい盆栽界の展望と今昔

山田登美男

近、蔵者名で陳列しております

した。今時点も変わっておりま

ことは残念です。

それはともかく、盆栽づくり

10年後20年後、

さらに

が無く、表示されるのは蔵者名 は国風展などの陳列でも作家名



なる。

者名)がつく。

やはり自分で姿をつくって、こ 力がないと本物ではありません。 は50年後を脳裏に描く。その能 時点で「この樹をどう作ろう?」 には先見力が不可欠です。若木

もう一ランク上をめざ

展(於・三越百貨店)を開きま に(特に女性層に)評価され始 り認められませんでしたが、近 なければ盆栽界が発展しません。 盆栽なのですから、たずさわる めたのを喜ばしく思います。 万法論を持つべきです。そうで 側の人間もそれに近づく発想や いずれにしても理想を秘めた 山野草ブームの定着ととも 時期尚早でその時はあま 各自が持ち分をわきま

えて自分は何をすべきか、大き が貢献できるかを考えることが く言えば盆栽を通じて社会に何

たり、迷うことになります。 ない」という正面が見いだせる ば「ここしか正面になりようが 実際にできたこともその活動コ ろうと活動し、行政にも提案し、 生半な精進では得られません。 正面を変えたり枝の振りを変え に乗せてぐるりと一回りさせれ までが反映されています。 らほぼ10年後の平成3年に、正 勉強会をスタートさせ、それか とともに「盆栽作家」をめざす このことに気づいた私は、 ただし先見力や「見切る」力は、 山採り品についても、 それが見切れないと





(日本盆栽作家協会講師) 今井 千春

Sakka-Ten 2012 ―スペイン大会―



ペニスコラの古いお城





(右頁上) 大会の模様がスペインの 盆栽雑誌に掲載されました。 (右頁下) 右から二人目 山田会長、 左端 今井講師 (上・左) デモンストレーション風景









Tomio Yamada a mis en place trois oma lors de la cérémonie d'ouverture dimension culturelle de l'événement



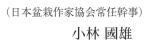
réuni des personnalités, dont, au premier rang, de droite à gauche, Lorenzo Agnoletti président de la Nippon Bonsa Sakka Kyookai Europel; Chiharu Imai, Tomio Yamada, professeu Aido Tollini (professeur de japonais classique à l'université de Venise), Masahiro Owada Schargé d'affaires au Saltama tourism and International Relations Buneau) et le consul général du Japon à Barcelone



ついて講義とデモンストレーションを盆栽作家協会を代表して挨拶と床の間ッパ名誉会長でもある山田登美男会長レッティ会長と続き、最後に作家協会 次回の大会り、ヨーロットがで、大変をある今井千春

淵上隆先生、







2012 中国盆景精品展

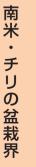






(右頁) 開会式(上) 展示作品 (左上) 展示作品の前にて 筆者 (左) 海外招待講師によるデモンストレーション

館を通して盆栽の素晴らしさを啓蒙す 盆栽博物館ができた。設立の中心に チリで盆栽園を営んでい の国立図書館の中庭に、 八の農場でもワーコ日本人会の会館 ました。協力黒松のデモれ、開館式で







いた。

していた。台 れ、受賞者の た。ヨーロッ た。ヨーロッ た。ヨーロッ

りを 売へ向かしてくれ

10

た。深圳から東莞へ向から、深圳から東莞へ向から趣怡園では三千枚近くの支那鉢を見て驚いた。
広東省佛山市に百二十軒もの植木と盆栽を扱う業者が集まっている。台湾から移民して来た人も参いという。
国で生まれ、八百年前に中国で生まれ、八百年前に中国で生まれ、八百年前に中なれた。彼らは日本の盆栽は型にはまりすぎていておもしろくないと言う。 中国からもっと色々なこけではないだろうか。
我々日本の盆栽作家は、けではないだろうか。

11

12



もみじ(獅子頭) 山田登美男

獅子頭は、数あるもみじの品種の中でも、特に人気があります。それは現代社会に好まれる条件が揃っているからでしょ う。新緑と紅葉、そして落葉時の佇まいがそれぞれ美しく、また環境に強いことが特徴です。20年にわたる育成の中で、 初めての床の間飾りとなります。幹模様の美しさをご鑑賞ください。



真柏 福舘治

真柏は、私の一番好きな樹種であり、被災地の盆栽人として 思い入れが深い木です。今回、展示の機会を頂けた事に深く 感謝します。復興の狼煙の一端になることが出来れば幸いです。



楓(石付) 矢内信幸

今年は夏の暑さのため、培養管理に大変苦労しました。紅葉 の時季には少し早い展示となったのが残念です。

私は楓の石付き盆栽に大変魅力を感じております。この作品 も好みの一鉢であり、丹精の味わいがようやく出てきている ように思います。



彫

刻

は

対

の

内

部

に

秋

80

6

れ

て

C

る

美

を

掘

り

起

ح

す

た

80

に

そ

の

魂

を

捉

え

て

余

計

な

も

の

を

取

象

そ

の

も

の

が

持

つ

個

4

そ

れ

ぞ

れ

の

風

格

が

表

現

さ

れ

な

け

れ

ば

な

6

を

に

す

だ

で

は

芸

は

え

な

い

の

あ

る

最

ŧ

<

似

た

ŧ

の

で

あ

る

か

し

彫

刻

ŧ

盆

栽

も

た

だ

形

除

仕

事

だ

لح

しく

う

で

持

つ

な

の

を

取

き

植

 \mathcal{O}

成

長

カ

を

気

長

に

育

形

を

然

美

を

生

動

さ

せ

る

لح

に

於

い

て

致

し

て

彫刻家(文化勲章 受賞者) 朝倉文夫

盆 لح 彫 刻 لح は 形 を 立 体 的 に 造 り す لح に 於

盆 は 自 現



13

後 期

展示

作品



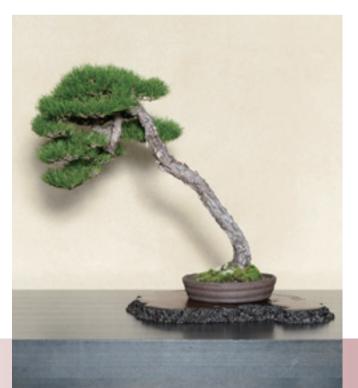
もみじ(紅千鳥) 秋山 実 もみじの品種の中でも、芽吹きと紅葉が非常に綺麗な「紅千鳥」の特さに を生かし、葉を鳥に見立て、また代徴 た鳥が飛ぶかのような情景を、作品 づくりに込めました。また根張り らの立ち上がりと、幹の動き人為する らのさも相まって、自然と人できる 合わせ、盆栽の品格を表現で う心がけました。

黒松(銘 翔鶴) 小林國雄

この樹を入手した時は、樹の頭頂部が大きく、幹も左に流れていました。そこで、主木を右に倒し、頭頂部を小さく 仕立て直して右に寄せ、左下に伸びる差し枝を用いて、この樹に空間と流れを作り上げました。

赤松 鈴木英夫

本樹は、長野産の赤松です。幹の頂上が垂直に折れ曲がった特徴を生かし、文人木調の姿に仕上げました。この垂直に下がった幹を曲げ込みながら、再度上に向け、自然の厳しさと生きる力を表現しました。



山もみじ(石付) 菊岡成泰

山を散策することが好きなので、そのような景色をこの盆栽に観ております。 長年にわたる培養によって、根元にかんだ石が幹と調和しており、この姿に 自然樹の美しさを感じております。





黒松 田中泰道

25年前、四国で購入し、それ以来ずっと作り込みを続け、やっと今の形になりました。元々の幹の曲がりが良かったので、山採りの味が出ました。



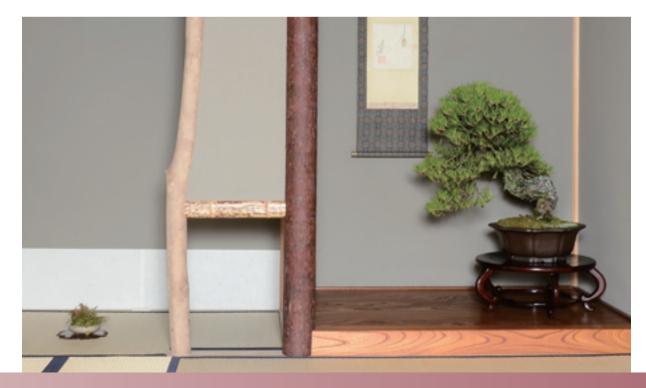


表 紙:真柏(銘:清風)第 22 回作家展 出品予定 発 行:日本盆栽作家協会/責任者 山田登美男 埼玉県さいたま市北区盆栽町 268 清香園 TEL 048-663-3991 事務局:江口信二 埼玉県白岡市野牛 1062 - 5 TEL 0480-92-3897